



2025年8月8日

各位

会社名



新東株式会社

代表者名

代表取締役社長 石川 達也

(スタンダード市場・札幌コード、5380)

問合せ先

取締役管理部長 早川 正

電話

0566-53-2631 (代表)

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年2月7日に公表いたしました2025年6月期通期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年6月期通期個別業績予想数値と実績との差異

(2024年7月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,716	109	103	51	72.07
実績 (B)	4,627	105	104	70	99.06
増減額 (B - A)	△ 89	△ 4	1	19	
増減率 (%)	△ 1.9	△ 3.6	1.6	37.4	
(ご参考) 前期実績 (2024年6月期)	4,545	△ 63	△ 54	△ 65	—

2. 業績予想数値と実績値との差異の理由

(1) 売上高について

建築着工統計報告によると、持家着工戸数は前年同月比で減少が続き、引き続き低水準で推移しております。こうした環境下において、当社は主力製品「CERAM シリーズ」および「SHINTO かわら S」の拡販に努めるとともに、新規顧客の開拓、SNS (YouTube 等) による商品 PR、Web 会議アプリを活用したリモート営業の推進等、販促活動の強化に取り組みました。

また、2024年1月には札幌証券取引所本則市場への上場を果たし、北海道・東北エリアにおける認知度向上と販路拡大にも努めてまいりました。

その結果、売上高は前回発表予想を 89 百万円下回る 4,627 百万円となりました。

(2) 利益について

原油価格の高騰や円安の進行により、主原料費およびエネルギーコストが上昇し、製造原価の増加を余儀なくされました。また、物流費や副資材費等も引き続き高止まりの傾向が続き、当社の収益性にとって厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況下において、当社は次のようなコスト対策および収益確保策を講じてまいりました。

- ・生産工程における歩留まり改善およびロス削減による原価低減の推進。
- ・設備稼働の効率化に向け、エネルギー使用量および人員配置の見直しを実施。

これらの施策が奏功し、売上原価率の上昇を一定程度抑えることができたことに加え、費用管理の徹底により販管費も抑制され、収益体質の強化につながりました。その結果、営業利益は 105 百万円、経常利益は 104 百万円、当期純利益は 70 百万円となりました。

以 上